

小美玉市の
文化・芸術 総合情報誌

おみた magazine

OMITA MAGAZINE



アートと交わる
わたしがひかる

撮影：齋藤 友幸
モデル：大野 年江・水内 幸恵
中村 好花・浅野 日和



Omitama
きらりびと



小美玉市の文化・芸術総合情報誌 おみた magazine 第180号

〒319-0132 茨城県小美玉市部室1069 TEL: 0299-484466
【企画・取材】みのんば編集局(四季文化館みのんれ内)
【編集・発行】小美玉市文化芸術課 令和6年5月23日発行

小美玉文化情報
日々発信中!

アピオス
みのんれ
コスモス
f f
@ @
x x

■ 編集後記

小美玉市で開催する各種イベントに参加してみると、多くの方々に助けられて事業が実現できていることを強く感じます。世の中には、フリーライダー問題など多くの課題がありますが、ボランティアの皆さんが日頃から献身的に活動されていることに感謝しております。(保田 孝雄)

■ みのんば編集局

編集長 藤田 佐知子
記者 遠藤 雅樹、加藤 篤子、瀧澤 比佐乃、福島 ヤヨヒ
保田 孝雄
カメラマン 赤上 恵、齋藤 友幸、橋本 笑優

■ アートディレクター/デザイナー 清水 すず菜 (つばめ座)

特集

今年の4月から、教育委員会が文化芸術分野を推進しています。文化ホールを拠点に、乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方々が参加参画し、人と人がつながり、学びあい、磨きあいが行われています。そして、まちを好きになり、未来のまちの姿を「自分事」として考える人たちが生み出されています。教育における文化芸術の役割とは…。教育に携わるお二人のお話から考えてみましょう。



PROFILE

小美玉市教育長
羽島 文雄

小美玉市在住。2021年から現職。前職は教員。小学校、中学校、市教育委員会、幼稚園に勤務。小学校教員時代は金管バンドを指導し、茨城県吹奏楽コンクールで複数回金賞に輝く。その他、これまでに市公共ホール運営委員やコスモスプロジェクト委員も務める。



筑波大学・札幌市立大学名誉教授

小美玉市教育長

Takashi Hasumi × Fumio Hatori

文化芸術は人生の基盤。人とつながり、たくさんの喜びや感動を味わってほしい。

蓮見 文化ホールを拠点にまち全体を元気にしていこうという「小美玉市まるごと文化ホール計画」に長く関わり、小美玉市には格別な思いを持っています。対峙しがちな住民と自治体が文化を軸にして融和し、主役である住民の活動を行政が支援するという小美玉の文化活動は、多くの人に大切にされて大きく枝葉を広げてきましたね。先駆的で理想的な事例として、私も全国で紹介しています。

羽島 計画の中で掲げた「根を張ってこそ花が咲く」という理念のとおり、おかげさまで文化を通して人と人のネットワークが生まれ、根を張り、さまざまな花が咲いています。大変すばらしいことですね。

今年度から文化ホールを運営する文化芸術課は教育委員会の所管となりましたが、文化芸術における教育委員会の役割はとても重要だと考えています。地域の文化団体や施設と連携し、活動を支援すること、文化芸術の価値や重要性を広く社会に知らせていくことも大事な役割です。

文化芸術は社会教育のひとつです。学校教育との共通点も感じますね。基礎的な

知識や技能をしっかり身に付けることが最初の一步で、そこからアレンジして自分の思いや願いを表現していくことで個性が生まれていくように思います。

蓮見 私は、人の生涯すべてが学びの連続であると考えています。学校教育もむしろ社会教育の中に含まれるのではないのでしょうか。かつては生涯をかけて何かを極めることが評価される時代がありましたが、現在はビジネス化が進みお金を払えば何でも手に入る消費社会。文科省の学習指導要領では探究型学習を推進していますが、日常の中で既製品に慣れ親しんでいる子どもたちは、自由な発想で目標を見つけることに苦戦するようです。

私たち人間の知力の中には、情報を分析して処理していくような理性的の世界と生まれ持った感性の世界が同居しています。詰め込み学習をするなど、あまりに急速に理性を育てていくと感性がしぼんでいってしまうようで、現代はどうもその傾向にあるようです。

歴史を振りかえると、とりわけ感性が豊かな時代には地域で祭りが行われ、定期



市も楽しんでいました。子どもから大人まで誰もが楽しめる祭りが大事な自己表現の場だったのかもしれません。人が地域で生き続け、さまざまに学び続けていく中で自然に地域の文化が生まれてきたのです。大切なことは、一人ひとりに宿る感性がどんなものなのかに気づくことで、さらにそれを活かしていくために、まず安心して自分を表現できる環境が必要です。小美玉では、地域に生きる人たちが自分の中にある可能性を表現し合い、さらに生涯をかけて高め続けられる場として文化ホールが活用されています。全国的にみても数少ない成功例で、作画的に再現できることではありません。

羽島 小美玉の文化芸術活動は「住民参画・住民主体」で企画運営されていますが、私はリンカーンの言葉を思い重ねます。「人民の、人民による、人民のための政治」という言葉の「政治」を「文化芸術」に置き換えると、主役は子どもたちを含めた住民であることが明確になりますね。

私は、蓮見先生がご指導くださった計画の中に、社会教育として大切なものが二つあると思っています。一つは人と人とのつながり。もう一つはつながりの中で感じる温かさです。文化芸術を通してみんながつながり、人の温かさを感じながら喜びや感動を味わえるように教育委員会としても支援していきたいです。文化芸術は心を豊かにし、生活に潤いと活力を与えてくれます。さまざまな形で楽しむこともできますし、生きがいを見出すこともできます。また、地域づくりや地域活性化にもつながります。

蓮見 私は、人生の基盤に文化芸術があると思っています。人は産声を上げたときから、自分にとって有益なネットワークを作り始めますが、幼少期からの教育が大切です。健康で幸せな人生を生きるためにも、そのころからいろいろな経験を積み上げていく必要を感じますね。その中でも“私”を表現し合えるホールは社会的にとっても大切なものですので、さらに活用してほしいです。

PROFILE

筑波大学・札幌市立大学名誉教授
蓮見 孝

「小美玉市まるごと文化ホール計画」コーディネーターを務める。現在は、いばらきデザインセレクション審査員、茨城県デザイン政策アドバイザーなど多方面で活躍。主な著書は「地域再生プロデュース-参画型デザインの実践と効果-」など。



社会教育

social education

アート×社会教育

撮影…赤上恵
取材…瀧澤比佐乃

Kumakiri



学びの場から生まれる幸福感がまちの活力に。
文化ホールの活用が社会教育のカギとなる。

CROSS TALK
Vol.03

今年の7月、コスモスが30歳に

貝塚 生涯学習センターコスモスは豊かな自然と霞ヶ浦を見渡せる高台に建ち、文化ホール、公民館、図書館、史料館と4つの役割を担う複合型の文化施設です。7月26日に30歳の誕生日を迎えますが、誕生してからは社会教育(生涯学習)の拠点施設として、さまざまな事業を行ってきました。また、地域の人たちのそばで共に成長し、皆さんに愛されるコスモスに育ってきたと思っています。平成23年には多種多様な人が集い、つながり、磨き合い、魅力あるコスモスにしていこうと目標として、住民組織『コスモスプロジェクト』を立ち上げました。主役は住民です。住民が輝き続ける場所として、住民が日常的に集い、ともに学びあい、磨きあうコスモスとして、成長し続けることと思います。コスモスは皆さんにとってどのような役割をもち、これから10年後、20年後とどのように成長していると思いますか？

水内 コスモスはみんなが一つになれる素晴らしい場所だと思っています。旧玉里中学校で、担任をしていたときの合唱祭の感動は忘れられません。社会科の教員という目線では文化財が埋まっている魅力的な場所だと思っています。実は今年度、学校のクラブ活動を地域の人たちに手伝ってもらえたらいいなと思って相談に来たのもコスモスです。玉里の人たちと繋げることができる場所、学校教育が必要とし

ている事や困っているときに繋いでくれる大切な場所だと思っています。
中村 小さい頃から家族で図書館、史料館を利用しています。歴史や自分の興味があることを学んで蓄える場所だと思っています。私は本が好きでよく図書館に通いました。私にとってコスモスはみんなが集まれる、辛いときでも笑顔でいられる場所だと思っています。多くの人がイベントなどにも参加してくれるのもっと楽しくなっています。対談をしてみても知らないことがたくさんあることに気づきました。『コスモスプロジェクト』のことも知らなかったのが友達を誘ってもっと楽しんでいきたいと思っています。もし私がコスモスで企画するとしたら、コスモス周辺は自然が多いので、自然を感じられるアクティビティを企画して楽しんでもらいたいです。

浅野 小学生のときから「演劇Crew Cosmo's」(コスモスにある劇団)に入っています。劇団に入って活動をしていることで、幅広い世代との交流ができて良かったなと思っています。今では、私の居場所の一つと実感しています。劇団では、出会いが広がったことで友達もたくさんでき、恥ずかしがり屋の私でも、舞台上では役者として表現ができるようになりました。私にとってコスモスは老若男女問わず交流するための架け橋であり、これからもずっと大切な居場所です。もし私がコスモスで企画するとしたら、推している

アイドルを呼び込みたいです。文化ホール、公民館、図書館、史料館と4つの役割を担うコスモス。四季折々の美しい風景を眺めながら、子どもから大人まで交流できる、いつでも戻ってこられる大切な居場所としてこれからも成長し続けてほしいと願っています。

取材に立ち会って

私は県外から小美玉市に嫁いできて、現在は市外に住んでいます。小美玉市の豊かな自然や美味しい農作物による暮らしやすさを市の外から感じています。ボランティアは細く長く形を変えても続けていくことが大切だと思います。絵本のかえっこは世界共通なので、無理のない範囲で続けていきたいです。まずはコスモス、みの〜れ、アビオスの3館で、絵本のかえっこの活動をしていきたいなと思っています。

コスモスプロジェクト委員・
「絵本のかえっこ」実行委員会 委員長

大野 年江さん



水内 幸恵
玉里学園義務教育学校 校長

私にとってコスモスは学校と地域をつなぐ心の拠り所です。コスモスの広報誌等もその手段のひとつです。対談に参加した2人には地域を大切にしたい心や、これからの担い手としての頼もしさを培ってほしいです。



浅野 日和
玉里学園9年生 吹奏楽部部長

コスモスの近くに住んでいる一人として、今思っていること、これからやってみようことを伝えることができました。参加している劇団「演劇Crew Cosmo's」をこれからも続け、次の世代のみんなに繋げていきたいです。



中村 好花
玉里学園9年生 生徒会会長

コスモスプロジェクトの活動をはじめ、コスモスについてよく知る機会となりました。今後は、回覧されてくるチラシや広報誌、ホームページなどから情報を得て、友達を誘ってイベントに参加したいです。



貝塚 勇
コスモスプロジェクト委員長

コスモスのミッションは、「学ぶ楽しさ」です。誕生以来、複合施設の特性を生かし、様々な体験、学びの場を創ってきました。30歳を迎え、さらに成長し続けられるよう学校とも連携を深めていきたいと思っています。



CULTURE REPORT

2024年3月10日 / コスモス
コスモス寄席

うらかな午後のひとときに、コスモス寄席が開催されました。訪れたお客様は、落語やマジック、ギター漫談などを、時には笑い、時にはしみりと聞き入り、芸の魅力に大満足された様子でした。この寄席は、プロと住民が共創する舞台となっているのも見どころのひとつ。OMT-JAPAN等で活動している住民も出演し、「次回開催もお楽しみに!」と語り、会場を大いに盛り上げていました。(福島 ヤヨビ)



2024年3月24日 / みの〜れ
ContiNEW 1st LIVE

継続する大切さと難しさ。この2つの命題に挑むContiNewのファーストライブでした。納場小、水戸浜田小のバンドを皮切りに、初心者の成果発表からのメインライブは、楽器そしてマーチングバンドの軌跡そのものを観ているようでした。「保管や練習場所などの課題が山積してはいますが、これからも前を向きながら続けていきたい!」とこれからの抱負を語ってくれました。(遠藤 雅樹)



2024年3月17日 / アピオス
アピオスカラオケバトル

歌に自信のある猛者たちが集結し、カラオケバトルが開催されました。出場者の迫力のある歌声やパフォーマンスにお客様は大いに盛り上がり、歌を通して幅広い年齢層のお客さまが楽しめた一日となりました。グランプリの松塚憲子さんは、「娘も出場していてライブでしたが、娘と同じ舞台上に立つという夢が叶いました。幸せでした」と大きなトロフィーを抱えて笑顔で話してくれました。(加藤 篤子)



2024年4月6日 / みの〜れ
小美玉さくらフェスティバル2024

「アートなおしごとたいけん」として、小美玉市のクリエイターたちがさまざまなブースをご用意。子どもたちは、体験の報酬でもらえる「アーツ(みの〜れでつかえる通貨)」を手にとると、嬉しそうに次から次へと体験を楽しんでいました。劇場探検ツアーや巨大たまごにぬりえをする企画も盛り上げを後押しし、みの〜れには子どもたちの笑顔がたくさんあふれていました。(加藤 篤子)



2024年 6〜8月のイベント pick up ※このスケジュールは2024年5月4日に作成したものです。

開催日	イベント	開演	場所	主催・お問い合わせ先	料金
6月14日(金)〜6月16日(日)	小美玉市文化協会祭	9:00〜17:00 最終日は15:30まで	アピオス	文化協会事務局(大貫) 090-2723-3932	無料
6月21日(金)〜6月23日(日)			コスモス		
6月28日(金)〜6月30日(日)			みの〜れ		
7月21日(日)	コスモス30歳記念式典	10:00	コスモス文化ホール	コスモス 0299-26-9111	無料
7月28日(日)	美野里中学校演劇部支援演劇発表会 夏公演	13:30	みの〜れ森のホール	みの〜れ 0299-48-4466	無料
8月3日(土)	けん玉ワークショップ	13:30	アピオス小ホール	アピオス 0299-58-0921	300円

INFORMATION

アピオスばるず15歳記念 ばるずのばるばるーざ!!

- 日時 6月30日(日) 10:00
- 会場 アピオス
- 金額 入場無料
- 出演 Canto_Oriente ほか

HappyBirthday音楽隊とCanto_Orienteによるミニコンサートや、楽器作り体験、コーヒーのドリップ体験を開催。小さいお子様から大人まで、みんなでアピオスばるず15歳を盛り上げよう!

■お問い合わせ / 0299-58-0921 (アピオス)

光と風のステージCue vol.74 Classical Concert

- 日時 7月27日(土) 19:00
- 会場 みの〜れ
- 金額 1,000円(1ドリンク付)
- 出演 増井 咲、久保田 綾香、久保田 佑里

ピアノ・ヴァイオリン・チェロの三重奏が、あなたを優雅な空間へと導きます。土曜の夜は、ドリンク片手にみの〜れで音楽を楽しみませんか。

■発売開始 5月26日(日)10:00〜 / 0299-48-4466(みの〜れ)

はじめての金管楽器教室

- 期日 8月7日(水)〜10日(土)
- 時間 【経験者】16:30〜18:00
【初心者】19:00〜20:30
- 会場 みの〜れ練習室1.2.3
- 金額 3,000円(全4回)
- 講師 ContiNEW

小3〜6年生対象。15名。楽器を全く触ったことが無くても大丈夫。音が出るうれしさ・楽しさを体験できます。楽器貸出OK。

■申込開始 6月23日(日)10:00〜 / 0299-48-4466(みの〜れ)

和太鼓体験ワークショップ

- 日時 8月17日(土)10:00
- 会場 みの〜れ風のホール
- 金額 500円
- 講師 みのり太鼓

5歳〜何歳でも参加OK!和太鼓を打ってみたい!親子で思いっきり身体を動かしたい!そんなあなたをお待ちしています。創作和太鼓集団「みのり太鼓」が講師となり、楽しく和太鼓を打ってみましょう!

■申込開始 6月30日(日)10:00〜 / 0299-48-4466(みの〜れ)

四季の里演劇祭

- 期日 7/13(土)、14(日)10:30
- 会場 みの〜れ及び四季の里
- 金額 2DAYフリーパス 一般5,000円他8種類
- 全席自由、年齢不問

20分一本勝負の大会『茨城劇王』と四季の里全体を活用する『四季の森シアターフェスティバル』を同時開催。公募型の演劇祭で、全国から34劇団が上演予定。

■発売中 / 0299-48-4466 (みの〜れ)

けん玉ワークショップ

- 日時 8月3日(土) 13:30
- 会場 アピオス小ホール
- 金額 300円
- 講師 トーゴ

けん玉をツールに、子どもと高齢者が抱える社会課題に取り組みます。けん玉は成功体験と五感力アップの宝庫。参加したら必ずきこころ思うはず。「けん玉って、こんなに楽しかったんだ。」

■申込開始 6月15日(土)10:00〜 / 0299-58-0921(アピオス)

みの〜れ夏休み劇場探検ツアー

- 期日 8月11日(日)
- 時間 ①10時②11時③13時④14時⑤15時
- 会場 みの〜れ
- 金額 無料(事前申し込み制)

夏休みにみの〜れ探検はいかが?普段は見ることのできないみの〜れの裏側へご案内!舞台上に光を当てる照明操作の体験もあります。

■申込開始 7月20日(土)10:00〜 / 0299-48-4466(みの〜れ)

アピオス小劇場vol.49 アピオスtoいっしょ あしたえがおになあれ!

- 日時 8/24(土)①10時②14時
8/25(日)③10時④14時
- 会場 アピオス特設小劇場
- 金額 高校生以上:1,000円
中学生:500円
小学生以下:無料
- 0歳から入場OK!(全席自由)

シアターデビューはアピオスで!おもちゃといっしょにぼうけんしよう!

■発売開始 6月22日(土)10:00〜 / 0299-58-0921(アピオス)